



砺波平野に熱気球の華  
バルーンミーティング(10/10~11)

# とやま

県広報

1987/11 NO.226

エッセイ 稲本 正	
富山の良さの再発見を	表紙2
特集/語りかける文化財	
文化財で時間旅行に	P.4
PIN UP TOYAMA	
晩秋の田園風景	P.12
TRIP 県政	
富山県教育記念館	P.18
ふるさとみてある記	
宇奈月町	P.20
シリーズ：とやまギネススポット	
薬	表紙3



爆発的  
愉快な  
ゴルフ

みんなで高齢化社会を考え、いきいき長寿社会を築こうと、87シルバーフェスティバルが富山県民会館等で開催されました。

## 第1回シルバーフェスティバル

10月1日～3日



初日は、老人クラブ大会に続いて若返り芸能祭が。三味線や民謡、踊りなど、日頃鍛えたのどや腕を披露しました。

二日は、映画祭。再婚をとおして高齢者の幸せを考える「おわりなき旅路」や老人性痴呆症問題を描いた「花いちもんめ」が上映され、共感を呼んでいます。

午後からはパネルディスカッション。三名の意見発表者と四名のパネラーから「いきいき」として、美しい長生き人生を目ざして「様々な角度からの意見が出されました。その後の記念講演では、NHKのアナウンサー土門正夫氏が、スポーツ放送の裏話をユーモアたっぷりに語り、大変うけていました。

また、両日、地下展示場等では、陶芸、手芸、絵画などの作品展や即売会なども開かれ、すばらしい作品の数々に感心していました。

三日は、空港スポーツ緑地でゲートボール大会。地区予選を勝ち抜いた九十六チーム、七百人余りが参加し、秋空に元気な声を響かせ、体力を見せつけていました。

稲本 正(オークヴィレッジ代表)

エッセイ

# 富山の良さを、首尾の畔

富山空港に下りた。「インフォメーション」という表示がある所へ行って「カニと甘エビが食いたいのだが近くで良いところがないか? いくつかあげてほしい。富山市内ならどこでも良い。」と伝えたのだが、どうも答えがはつきりしない。

情報化時代といわれ始めてからかなりたつというのに、親切な情報を流してくれるところが富山には少ないようだ。

富山空港に下りた。「インフォメーション」という表示がある所へ行って「カニと甘エビが食いたいのだが近くで良いところがないか? いくつかあげてほしい。富山市内ならどこでも良い。」と伝えたのだが、どうも答えがはつきりしない。

小学校の頃、屋根の上って、立山や剣岳の絵を描いた。父につれられて神通川にアユを釣りに行った。富山湾にホテルイカを見に行ったこともある。勿論、近くのお寺の境内でワンパク達とさんざん遊んだし、裏山の木に登ったりもした。

要するに、県外に出るということが非常に少なかったが、逆に富山の良さがよく認識できる暮らしがあったといえるのかもしれない。良さを他に知らしめるためには、日頃から良さをできるだけ深く理解しておかなければいけないのかもしれない。

をしてる私は、生まれ故郷の富山経由でよく往来する。その度に、「どうして富山の人は、富山の良い所をこんなに必至になって隠すのだろうか?」と不思議な気持ちになる。

そんな折、入善町に二十五年ぶりに帰ってきた木元さんという人が私の前に現われた。そして生まれ故郷の田んぼの真中にダックス・ファームという自家焙煎の珈琲屋さんを始めるという。

富山の良さを深く知り、広く世界に知らしめている人に、利賀の国際演劇祭を開いている鈴木忠志さんのおいでになる。先日、利賀へ行ったが私の住む清見村とは、二時間内で往来できることがわかった。意外と近い。利賀と清見を結ぶ道路ができて富山の良さと飛驒の良さを加算することができるのなら、どちらもますます世界に誇れる所になる。

さらに身の回りの良さを創出にも努めたいものだ。





これは、ファインダーを通してふるさとを見つめ直し、その良さを再認識しようというもので昨年に続いて今年で2回目。県内外からの応募作品、そして富山県写真家協会からの出品を加え、合計735点の写真が集まりました。

海、川、滝、水遊び……。会場はみずみずしいとやまの魅力で満ちあふれていました。

## '87ズームアップとやま開催

## 夏のとやま水撮り大作戦

八月一日〜七日(水の週間)に県内各地の「水」を県民の皆さんが撮影した

「'87ズームアップとやま」。

このとき撮られた写真を一堂に集めた展覧会が十月九日〜十二日、県民会館で行われました。

県民総ぐるみの健康づくりについて考える「とやまヘルストピア推進大会」が十月六日、県民会館で開かれました。

## 「とやまヘルストピア推進大会」開催



公衆衛生事業に貢献した個人や団体の表彰のあとは、「健康サミット」と名付けたパネルディスカッションがあり、アイスクレーターの元オリンピック選手、渡部絵美さん、富山医科大学長の佐々木氏、ハードルの元オリンピック選手、安田寛一さん、KNBの吉友嘉久子さんの4人がパネラーとなって手軽にできるスポーツから健康づくりなどについて話し合いました。

続いて午後からは、評論家の俵萌子氏が「健康を考える、今日がいちばん若い」と題して講演しました。

また、一階ロビーでは、「健康づくりコーナー」が設けられ、精神障害者の人たちの作品が展示即売されたほか、体力測定、母乳育児相談などが行われ、約二百人が参加、会場は終日大勢の参加者で賑わいました。



## いきいき富山のヘルシーアップ



# 語り

かんせまみてし話対と「昔」

# かける

ブリットムイタ  
に行旅間時で財化文

# 文化財



硬玉製大珠  
(氷見市朝日貝塚出土)  
▼不動堂遺跡  
(朝日町)

私たちの先祖は、いったい何を考え、どんな生活をしていただのでしようか。こうした疑問に、それぞれの時代の「顔」として答えてくれるのが文化財です。文化財は、各時代に固有な制度、文化、風習などを私たちに語りかけてきます。それは、これから私たちが生きていく時代にもきつと大きな示唆を与えてくれるはず。11月1日〜7日は、文化財保護強調週間です。この機会に身近な文化財に接してみるのもいいかもしれませんね。

## 富山県埋蔵文化財センター

### 特別企画展示「ひすい」地中からのメッセージ

富山埋蔵文化財センターは、昭和五十二年に開設されたものですが、十月二十三日、増築部分が竣工し、装い新たにオープンしました。

これを記念し、特別企画展示「ひすい」地中からのメッセージ」を開催中です。

この企画展は、最近発掘調査を行った境A遺跡(朝日町)の出土品や県内外のひすい製品などを中心に展示して、原始・古代の人々が、ひすいに寄せた心や知恵をさぐるものです。

●開期/十一月二十三日(月)

●入場料/無料

※展示に合わせて公開講座を行います。

●演題/縄文人の思考 ●講師/小林達雄氏(国学院大学教授)

●日時/十一月十四日(土)

午後二時〜四時

●受講人数/六十人(定員に達し次第締め切ります)

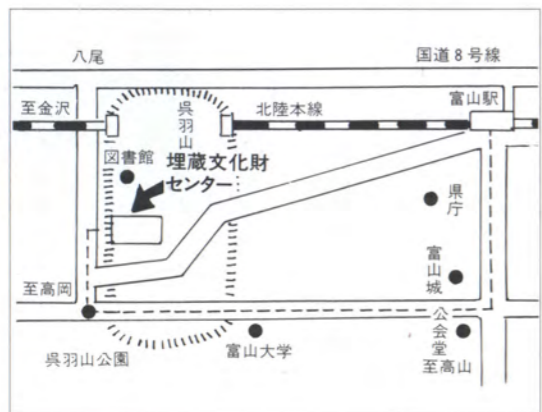
●申込先/富山県埋蔵文化財センター



▲高岡御車山



▲埋蔵文化財センター



- 「埋蔵文化財センターでは」
- ①埋蔵文化財の調査や整理
  - ②埋蔵文化財の調査研究に必要な図書・写真などの収集
  - ③専門的・技術的な研修や相談
  - ④遺物や資料の展示・学習会などを通して埋蔵文化財保護思想の普及を図っています。

### 富山県内には、1,012件の指定文化財

文化財は、文化財保護法により次の五つに大別されています。

- ①有形文化財(建造物・絵画・彫刻など)
- ②無形文化財(芸能・工芸技術)
- ③民俗文化財(風俗慣習・民俗芸能など)
- ④記念物(史跡・名勝・天然記念物)
- ⑤伝統的建造物群(歴史的な町並み)

また、これらの文化財は、国・県・市町村のそれぞれ法律や条例に基づいて指定され、保護されています。現在、富山県内には、千十二件の指定文化財があります。(国指定の七十七件については八ページの別表参照)

富山県埋蔵文化財センター  
富山市茶屋町二〇六番三号  
☎(0764)34-2814  
交通/JR富山駅より富山地鉄バス呉羽公園下車十分、北代循環バスで県立図書館下車

「いろいろな時代の土器や石器を見て当時の生活を自分なりに想像してみるのが面白い」ということですが、実は、古代の人たちがどんな生活をしていたのか、まだまだわからないことが多いそうです。



「それでも、いずれ古代の歴史は明らかになるはずですが、先人の遺産を保存しておくことは、現代に生きる私たちの大切な役目です。」杉崎さんの手作業はまだまだ続きそうです。

埋蔵文化財センターで土器片整理のアルバイトをしている杉崎さんは、この仕事を始めて十年になるベテランです。主な仕事は、県内各地で発掘された土器片の洗浄と記号入れ（発掘場所などを示す文字を毛筆で記入し、組み立ての際参考にするもの）

どんなに小さな断片でも、土器を構成する重要なもの。洗浄の時は壊さないように、記号入れの時は、裏表をまちがえないように細心の注意が必要です。



「育った地域を知ることによって、自身をより深く知ることができます。また、生徒も、今、記録保存しておかないと散逸してわからなくなってしまうという危機感を抱いているのでは」と顧問の酒井先生。

そして、この活動の輪をさらに広げようと先生が「地域研究」への参加を全校に呼びかけた結果、書道部や生物部、新聞部などが名乗りを上げ、調査を進めています。また、一年生も全員が地域の祭りや歴史、慣習等レポートし、ふるさとに関心を向けました。

戦国時代に激戦が繰り広げられ、金山としても栄えた魚津。そんな郷土を見つめ直す意識が学校全体に高まっています。

「魚津地域の自然と文化を探ろう」と、魚津高校では、地歴部を中心に地域研究が盛んです。きっかけは、七年前の魚高祭。見つめようUOZU」をテーマに、学校祭のあり方を従来のお祭りのものから地域研究の発表へと路線転換。この成果を継続発展させようと、地歴部の活動が年々盛り上がってきました。

メンバーは十名。昨年の魚高祭では、越中最大の山城松倉城を中心とした模型を作り、戦国時代の魚津の様子を紹介しました。また、今年の小文化祭では、過

### 歴史を守る 歴史の番人

松永公英さん（小矢部市）

文化財保護委員の松永公英さんも文化財保護に長年携わってきたひとり。教師と寺の住職をやっていると文化財に接する機会が多くて、それで知らず知らずのうちに文化財の魅力のとりこになっちゃったんですよ。」という松永さんは、この道のベテランです。

文化財保護委員としての松永さんの仕事は主に文化財の認定と文化財ハトリール（文化財が傷んでないかどうか調べる）古文書を解読したり、建築物ならいつ頃の建築様式で造られたものなのかを調べなくてはならないので、なかなかたいへんです。

こうして松永さんが関わってきた文化財は数多く、最近では、関野遺跡、若宮遺跡など挙げればきりがありません。

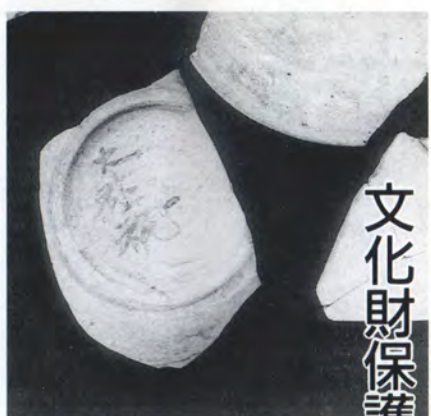
「富山県は信仰のさかんなところていいものがたくさんあるんです。例えば、小矢部の俱利伽羅不動は文化財に指定されてはいないけれど、奈良の昔に起源をもつものなんです。明治の廃仏毀釈で荒らされたけれどいいものなんですよ。」と、松永さん。

文化財は歴史の証人であり、私たち共通の財産です。その文化財を守る松永さんはまさに歴史の番人です。



### 土器組み立ての裏方さん

杉崎容子さん（富山市）



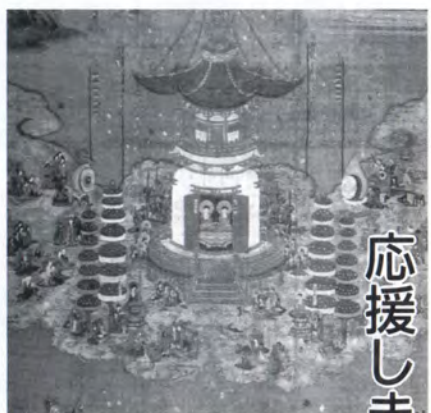
▲墨書土器（小矢部市桜町遺跡）

文化財保護



▲稚児舞（宇奈月町明日）

私も



▲絹本着色法華経曼荼羅図（八尾町本法寺）

応援します

富山県内の 国指定文化財 一覧



Table with 7 columns: 市町村 (Municipality/Village), 種別 (Type), 名称 (Name), 市町村 (Municipality/Village), 種別 (Type), 名称 (Name), 市町村 (Municipality/Village), 種別 (Type), 名称 (Name).

特集 語りかける、文化財

お・知・ら・せ

（県税でお困りの方は、いらっしゃいませんか！）



この社会、あなたの税がいきている

個人事業税 納期のお知らせ

十一月は、個人事業税第二期分の納期です。お早めに最寄りの金融機関または、県税事務所へお早めにご相談ください。

Table of tax offices: 富山県税事務所 (富山市舟橋北町), 富山県税事務所 (富山市新庄町), 高岡県税事務所 (高岡市赤祖父), 魚津県税事務所 (魚津市新宿), 砺波県税事務所 (砺波市幸町), 富山県総務部税務課 (富山市新総曲輪).

- (1) 災害や盗難にあつたとき
(2) 病氣やけがをしたとき
(3) 業に著しい損失を受けたとき

「公給領収証」

受けとっていますか

料理店や旅館などで飲食や宿泊をしたときには、料理飲食等消費税がかかります。この税金は、料理といっしょにお店の経営者の方が預り、毎月まとめて県へ納める仕組みになっています。

料理飲食等消費税一覧表 (昭和61年10月1日現在)

Table with columns: 店の種類 (Type of shop), 税がかかるのは (Tax is levied on...), 税の計算 (Tax calculation).

県民に信頼される21世紀の病院をめざして

# 県立中央病院 基本構想

1151

生涯を通じて明るく活力に満ちた生活を営むことは、県民福祉の基本的な条件です。県では、こうした見地に立って、「県民ヘルスプラン」を策定するなど二十一世紀に向けた「日本一の健康県づくり」を県民総ぐるみで進めています。

このたびその一環として、「県民に信頼される21世紀の病院」をめざし、県立中央病院を全面的に改築整備するための基本構想が報告されました。

県立中央病院は、昭和二十六年に開設されて以来、富山県の中核的病院として、広く皆さんに親しまれてきました。しかし、施設の老朽化が進む一方、現在の体勢では、ますます高度化し多様化する医療需要に対応することが難しくなってきました。

このため、昭和五十九年に、富山県立中央病院基本構想検討委員会が設置され、新しい県立中央病院のあり方について検討が続けられました。

この報告に示された新しい県立中央病院の概要は、次のとおりです。

新しい  
県立中央病院の

## 全体計画

病院の新築面積は、約四万七千平方メートルで、県内最大の病院となります。また、これに加えて、約六千五百平方メートルの既設建物を改修し、病院建物として使用することとしています。なお、病院のベッド数は、従来どおり八百床とされました。

新しい  
県立中央病院の  
機能と  
性格

新しい県立中央病院では、高度の医療技術の提供に加え、患者の心を見つめ、患者に話しかける病院として、心豊かな信頼される医療を提供していきます。このため、次の五つの性格と機能を持つ病院として整備していきます。



**② 患者本位の病院**  
①心のかよった患者本位の医療  
初診患者に対する総合診療案内や県民に開かれた診療相談コーナーの設置、「待たせない外来」の実現に向けた予約制の導入、チーム医療の実践などにより、一層心のかよった医療を提供していきます。



**① ガン等の疾患を克服する  
日本一の健康県づくりの  
中心となる病院**

ガン、心疾患、脳血管疾患等の高度医療、救急医療などの特殊医療に関する機能をさらに充実させるとともに、地域医療研修センターの設置等により、県内の中核病院としての機能を一層強化していきます。



**② 患者本位の施設・環境の整備**

明るく静かゆつたりとした病室、患者家族用控室などを設置するとともに、緑につつまれた心のなごむ療養環境の整備につとめます。

**③ ターミナルケアの実施**

ガン末期患者等の肉体的、精神的、社会的な苦痛を少しでもやわらげ、人間の尊厳を保持しつつ、残された日々を心安らかに過ごせるようなターミナルケア（緩和ケア）を実施します。このため、患者が家族と一緒に過ごせるような病室の整備や肉体的苦痛をやわらげるためのペインクリニックの充実を図るなど全国モデルとなる病院を旨とします。

**④ 東洋医学の臨床・研究**

三百年に及ぶ富山県和漢薬の伝統と特性を十分に生かして、慢性疾患等に対する新しい薬物療法として和漢薬診療をさらに充実するとともに、はり・きゅう・気功法についても様々な効果的治療法を研究するなど東洋医学の臨床・研究を進めます。

**⑤ システム化・効率化された病院**

病院各部門の効率的、有機的な配置、情報システムの導入等によって、業務の効率化を進めるとともに、省エネルギーに適した建物構造とするなど、高度にシステム化・効率化された病院にします。



新しい  
県立中央病院の  
建設計画

### 一、工期

工事は、工期をI期、II期に分け、富山市西長江の現在地で診療を続けながら行うこととしています。

工事にあたっては、診療や入院患者、近隣住民への影響を極力小さくおさえるよう配慮することとしています。

#### 《第I期》

病棟部門を中心として、昭和六十四年度に着工し、昭和六十六年度の完成を旨とします。

#### 《第II期》

診療部門を中心として、昭和六十七年度末に着工し、六十九年度の完成を旨とします。

### 二、設計

今年度中に、設計競技が行われ、年度末には、新しい県立中央病院の姿が明らかになります。また、昭和六十三年度には、着工に向けて詳細な設計が行われる予定です。

「晩秋の田園風景(滑川市)」

秋はやさしく暮れていく

稲わらを眠らせて

遥かなる薄霧に







県内在住の外国人と県民が、意見交換を通じて国際理解を深める国際交流の集いが九月二十六・二十七日の両日、上平村合掌の里で開かれました。

これは、富山県国際文化センターの開設を記念して企画されたもので、参加したのは、研修などのために富山にきているアメリカ、ブラジル、中国、韓国など十一カ国の三十七人、そして県内代表五十五人です。

まずは、市民レベルの国際交流、地域ボランティアと国際交流、青少年の国際交流、文化の国際交流の四つの分科会に分かれて討論を繰り広げた後、パネルデ

イスカッションに移り、各分科会の代表者が討論の内容を発表しました。ここではパネルディスカッションの概要を紹介しました。

(各分科会は、外国語と日本語が混じりあうものとなりましたが、グッドウィルガイドの方などが適宜通訳をする形で進行了ました。)



# 国際交流の集い ~上平村で開催~

## INTERNATIONAL EXCHANGE GATHERING

### 市民レベルの国際交流



渡辺 裕之  
(前富山県青船会長)

市民レベルの国際交流は、以前から比べるとかなり進んでいるということでグループの意見は一致したのですが、そうした中でもやらなければならぬことはたくさんあります。

こういう観点にたって、このグループでは、国際交流のあり方について討議し、いくつかの提案が出されました。

まず第一に、身近な所からいろんな経験を深めていくということです。例えば、現在のシステムでは、英語教育は中学校に入ってから始まるわけですが、これでは遅すぎます。もっと小さい頃から、英語あるいは外国人と触れあう環境をつくっていくことが必要です。

また、ホームステイを充実させることも有効です。観光旅行では味わえない人と人の心情的なつながりがホームステイでは体験できます。受け入れ、送り出し両面を含めたホームステイのシステムを確立させることがこれからの課題です。

外国の人からは、道路標識や看板などがわかりづらいという意見も出されました。日本語と外国語を併記するなどして、外国の人にも住みやすい街をつくることも大切なことです。

次に、国際交流を進める上での心がまえですが、その基本となるのは、日本人も外国人も形式ばらずに、ナチュラルにつきあうことです。

さらに、国際交流に関してある程度の経験のある人は、自分以外の人も国際交流の輪を広げていくこと。外国の人が日本で困っている時、あるいは外国のことを知っていたら、日本人がいる時は積極的に情報を提供することが必要です。

市民レベルの国際交流という底辺が広く結果がすぐ目に見えてくるものではありません。前に掲げたようなことを参考にして地道に意識改革を進めていかなければならないということです。

また、国際交流の究極の目的は何だろうかという点についても話し合いましたが、ここに出た意見は、私たち地球に住んでいる人間が、一つ一つの国を超越した地球人であるという発想をもった上で平和を推進することです。外国に友人がいれば、少なくともその国とは戦争をしたくないはず。いろんな国の人と友だちになってこういう気持ちを広げていけば、地球全体の平和も可能はずです。



# 地域ボランティアと国際交流



川島 恵子  
(富山県婦翔会 国際部長)

最初に出された提言は、ボランティアは心からはじまるということ。自分の国のことを制度的にも歴史的にもよく理解したうえで、国情の違った所で育った人たちのことを理解する心が大事だということです。

また、ことばの問題も重要です。ことばがお互いに理解できないということで、外国の方のつきあいには疎遠になりがちなのですが、この討論で知ったのは、国際交流のためにはことばがあるということ。これは、同じ日本語でも、外国人にもわかりやすく整理された日本語です。日本人もこういうものをもっと勉強して、大



いに利用しコミュニケーションの機会を増やせばよいですね。また、この討論の中で、外国の方に今一番望むことは何ですか?と尋ねたところ、全員に共通していたのは、土地の人ともっと交流したいということでした。

企業や研究室などで働いている外国人の中には、普段の生活の中で会社の中や近所とのつきあいが少なく、買い物なども外国人同志で行く場合が多いそうです。このように、限られた範囲内で、限られた人ときあうのではなく、外国語も

できず、こうした集いにも参加できないような人も交流して、日本の普通の生活様式や文化を理解したいということ。逆にもっとリラックスして、本音で付き合ってもらいたいということ。富山県の国際化の中心となるとやま国際センターが、地理的にも非常に便利な所に移転したわけですが、多くの人がそのサロンを利用し、そこに行けばいろいろな人、ディスカッションができるような雰囲気を整えてほしいという要望もありました。

このほかにも、いろいろな意見や要望が出ましたが、こうしたものに一つ一つ答えていくことが、国際交流のための地域ボランティアではないかという結論でグループの討論は終了しました。

お互いにもっとリラックスして、本音で付き合ってもらいたいということ。富山県の国際化の中心となるとやま国際センターが、地理的にも非常に便利な所に移転したわけですが、多くの人がそのサロンを利用し、そこに行けばいろいろな人、ディスカッションができるような雰囲気を整えてほしいという要望もありました。



高村長太郎  
(富山インドネシア友好協合理事)

初対面の人同志が集まる時には、まず自己紹介が大切だということで、どの国から何の目的で富山に来て、将来は何をしたいのかということを外の方の方に話していただき、その後、討論に移りました。

語学の教師、畜産の勉強、コンピューターの研修など目的は様々だったのですが、皆に共通していたのは、日本の文化をもっと良く知りたいということ。そこで問題になったのが、日本の文化をどのように伝えるのか、そしてそのために私たち日本人は何をしなければならぬのかということでした。

まず第一に出た意見は、日本人が心を開いて外国人を受け入れるよう努力しなければならぬということ。もちろん、日本人も大切ですが、それより先に外国人を理解し交流を深めようという心構えが必要だということです。

討論の間、外国の人たちは、常に目を真剣に輝かせ、しかも笑顔を絶やさないでいました。

こうした心を開いた態度が相互理解にとって一番重要なこと。私たちが心を開いて、心と心の交流を進展させていかなければなりません。



次に出た意見は、日本人自身がお茶、お花、武道など、日本の古い伝統についてよく勉強しなければならないということです。

外国の人たちは、日本の伝統を学ぼうと真剣で、いろいろなことを私たちに質問するのですが、こうしたことに正確な、そしてわかりやすい答えの出せる日本人は少ないと思います。

これを機会に、私たちも日本の伝統、富山の伝統について再認識する必要があるのではないのでしょうか。

このような形で生まれる文化交流によってお互いの信頼関係、協力関係が生まれ、それが国際理解の大きな力になっていくはず。

# 青少年の国際交流



池原 純一  
(富山県 青年団協議会長)

私を含めた若い人たちは、国際交流の必要性については、感覚的に理解しているはずなのですが、実際に今、何が問題で何をすればよいのかということになるとまだまだわからないことが多いと思います。

そこで、このグループでは、こうしたことについて、日本人・外国人相互の体験をもとに話し合いました。まず最初に問題になったのが教育についてです。

日本では、日本のことや日本語を教える講座が少ないなど、留学生の受け入れ体制が不十分です。大きな夢をもって日本にやってきた人

たちの期待にこたえ、勉強のしやすい環境を整えることが大切です。

また、父親の仕事の関係で四年前に日本に来たアメリカの中学生が討論に参加していたのですが、彼が面白に発言をしました。



彼の言うには、日本に来たときには、なかなか日本の友だちになじめず困ったことが多かったそうですが、今では、そうした経験をいかし、自分がみんなと違うということの良い方に利用できるよう

になったということです。こういう少年と接していれば日本の少年達も国際交流を身をもって体験できます。

小・中学生など低年齢の頃から留学生と交歓をすれば、お互いの理解も進むということ。次に、スポーツを通じての交流についても意見がでました。青少年のもっている力を生かす場として、スポーツは最適です。

具体的な提案としては、参加者のレベルを問わず、どの国のだれでも参加できるスポーツ交流はできないかということ。こうした大きなプロジェクトについては、教育機関・行政・民間が一体となった取り組みが必要ですが、ぜひ実現していただきたいものです。

国際感覚を地域に導入する役割は青少年にあります。一方、大人たちには、その環境を保護し、青少年を成長させていく役割があります。

こうした形で青少年と市民が一体化し、国際交流が進めば素晴らしいことだと思います。

レポーターは、  
山添亜子さんです。



# 学校の生いたちを探る

## 富山県教育記念館

さわやかな秋晴れのもと、今日は去る九月五日に  
創立十周年を迎えた富山県教育記念館を訪れました。

「がんばってまます作品展」など  
ユニークな恒例展

この記念館は、全国でも例の少ない教育博物館として、教育資料等を収集、整備し、誰もが見られるように展示しています。

蔵書は、教育関係一万二千五百冊、郷土関係四千五百冊、百科辞典、全集等三百冊、その他にも、多数の書物やパネルなど約四千点があります。

さて、この記念館の働きはといいますと、一階は主として、展示場となつています。恒例展が年に七、八回と特別展が年に二、三回催されています。恒例展には、日頃発表の機会の少ない身体障害児たちが一生懸命につくった作品を一堂に集めた「がんばってまます作品展」、学生や青年教師による「三十歳未満の美術展」などがあります。

### 「寺子屋」体験!?

二階は、教育記念室となつています。入口に立つとまず目に入って来るのが、再現された寺子屋です。私もその寺子屋に入り、先生のお人形の前に座つてみました。が、何とも不思議な気持ちになりました。

この階では、明治・大正・昭和という時代推移を小学校教育を例に追いかけており、その流

れをスムーズに紹介するため、パノラマ・コルトン・ジオラマ・VTR等を使用し、より一層変化のある展示となるよう工夫されています。

### 郷土の先賢の遺品や資料も

三階は、郷土先賢室で、六つのステージの先賢コーナーには、郷土の生んだ先賢六人の遺影、遺品が展示され、その業績を紹介しています。

私が訪れた時は、山田昌作氏・藤井能三氏・麻生正蔵氏・柏原兵三氏・高見義堅氏・亜武菓マールレット氏の紹介でしたが、これはその度入れかえられています。

ところで、この記念館の利用客は、過去十年で延べ三十七万人を数え、年齢層は、実年の方や、お孫さんの手をひいていらつしやるおじいちゃん、おばあちゃん、また、社会見学の小中学生がほとんどだったそうです。

そこで、この記念館では、十周年を迎えて新しく、多くのものを取り入れ、モダンな感じのものにしようと意欲を燃やしており、若い方々の利用にも大いに期待しているとのこと。

私の知らない古い教科書やレトロという言葉がびつたりのセルロイドの「ベティ・ロー」という名のアメリカ生まれの青い瞳のお人形は、きつと若い人たちにも何らかの共感を与えてくれると思います。私がそうであつたように……。

### ★レポーター募集

「レポーターがやりたい」「県政のあんな所、こんな所を見てみたい」。このような方は、県庁広報課までご連絡ください。

(☎0764・31・4111)

とる記  
さる記  
ふる記  
みる記

# 宇奈月町

宇奈月は、言わずと知れた温泉の町。三十軒以上の旅館やホテルがひしめいているが、さらに黒部峡谷鉄道のトロッコに乗って行くと……今はやりの秘湯めぐりができる。宇奈月温泉の

## 黒部峡谷秘湯めぐり

源泉黒難温泉、万年雪を眺めながら溪流の露天風呂につかれる鐘釣温泉。そして終点樺平駅からは徒歩十分で名剣温泉だ。

近くの名剣山からその名をとった名剣温泉は、黒部川の岩壁に建てられているため、入口が三



階にあるという面白い造りだ。営業は五月の雪解けを待って。  
「温泉を通すパイプを引いたり、雪囲いはずしたり、山菜を取ったり、春は大忙しですよ。」と社長の平田さん。露天風呂は崖ぶちにあり、岩の湯舟が気持ちいい。もちろん二十四時間いつでも入浴可能だ。  
「県外のお客さんが多いです。最近ようやく県内の人もわかってきたようですけど。」と平田さん。露天風呂に入る人、温泉コーヒーを飲んでいく人、次々にやってくる客に自ら玄関に出て応対する。



名剣温泉からさらに上流へ三十分。イオウの匂いが立ち込め、川の中から白煙が立ち上る。祖母谷温泉地獄だ。河原へ下りていくと、いたいた。お湯につかっていると一杯やっている人が。最も温度が高い所では八十三度、ゆて卵も十分できる。残念なことに、これらの



温泉ももうすぐ冬支度。十二月には雪にすっぽりと覆われて足を踏み入れることはできなくなる……と思いきや  
**挑む 真冬の黒部峡谷に**  
なんと、冬にも峡谷へ通ってくる人がいるのだ。人呼んで「運送さん」。峡谷のダム従業員のための、言わば郵便屋さんだ。背中には、新聞、書類、食料品など約二十キロの荷物を背負い、カンテラを持って三人で町を出発する。目もくらむような橋を渡り、まっ暗な人道（トロッコ軌道に沿って作られたトンネル）をひたすら歩く。途中のダムで二人が別れ、最後の一人は黒四発電所へ。樺平（ここからは乗り物がある）まで二十二キロメートル、五時間の道のりだ。  
石丸幸正さん(62)は、七人いる運送さんの最古参。もう三十年になる。冬の黒部峡谷だなんて、さぞ怖くて寂しいだろうと思つたら、やってみると案外いいよ。監視されることもないから気楽やね。凍結箇所や風の出る所さえ気を付

宇奈月町の概要  
面積 341.20平方キロメートル  
人口 7,418人 (10月1日現在)



県内第二の面積をもつが、ほとんどが黒部峡谷とその周辺の山岳地帯で、中部山岳国立公園の一部をなしている。宇奈月温泉は、県内最大の温泉地で、また、冬はスキー客でにぎわう。黒部川にはたくさんの発電所があり、電力の町でもある。

ければ大丈夫。」とケロリとしたもの。それでも「山は、気圧がものすごい変化するがてね。ホウナダレにやられそうになったこともあるよ。風は恐ろしいね。電車みたいな音を出して山を回り、橋を揺らしとったこともあった。こりやあダメかと思つたけど、待つとつたら止んだ。ガスなんか必ずおさまるから、あわてんと一服することにしようわ。」  
今は、かなり安全になつてきたが、かつては雪をラッセルしながら進んだこともあり、何度も危険な目に遭つてきた。

ダムでは、従業員が運送さんの到着を心待ちにしている。何の娯楽もない彼らにとつて下からの荷物が唯一の楽しみなのだ。七人の運送さんは、彼らの心の命綱だ。

## のびのび育て 雪ん子たち

「キヤー、こつかまえたー！」お寺の境内で子供たちが鬼ごっこをしている。一緒に走り回っている大人が二人。お坊さんと元気のいい女の子。ぼんやり眺めていたら、突然整列！二人の指導で「アイウエオイウエオ」発声練習が始まった。そして、目玉の体操、くちびるの体操。子供たちは、小さい口をいっぱい開けて、バクバクバクバク。かわいーい。

ここは、浦山の善巧寺。子供たちは、



ことばの教室「雪ん子劇団」の俳優だ。一緒に走っていたのは、雪山隆弘さんと玲子さん夫妻。隆弘さんは、元新聞記者。玲子さんは、元アナウンサー。マスコミの世界にいた二人だが、地域活動に関わりたいたと、十三年前に玲子さんの故郷宇奈月の寺へ戻つてきた。小学生を集めて雪ん子劇団を始めたのは、八年前。寺の日曜学校の一環としてだった。「個室とテレビのせいで、会話が、生きたことばが少なくなっています。表現力豊かな子供になつてくれればいいと思つ

て。」と隆弘さん。小学生の頃から演劇をやっていた彼「芝居では、役柄により色色な体験ができま



す。人前で注目を浴びるの、

雪ん子の演技力と演出のすばらしさには、プロも脱帽している。県内の小中学校はもとより、県外からも招待され、雪ん子旋風を巻き起こしている。もちろん、春秋の定期公演は、地元の人々の一番の楽しみだ。「こんな劇団がたくさんできて、しのぎを削るようになれば面白いんですが。」と隆弘さん。一六

9月16日～10月15日

- 9月16日 9月定例県議会（～30日）
- 9月17日 アイスランド大統領来県
- 9月19日 交通安全県民大会
- 9月26日 空きカンゼロ運動
- 9月27日 県民オーケストラ合同演奏会
- 10月1日 シルバーフェスティバル（～3日）
- 10月2日 望ましい立山を考える会  
とやまテクノ  
フェア'87  
（～5日・テクノホール）
- 10月3日



総合体育センター研修棟・中体育館竣工式



- 有峰「秋のつどい」（～4日）
- 10月6日 とやまヘルストピア推進大会
- 10月8日 スポーツ奨励賞授与式



- 富山県育樹祭
- 10月9日 「スチームアップとやま」展（～12日）  
くすりと葉草  
展（～14日）



- 10月13日 総合博物館基本構想策定委員会
- 10月15日 知事のまちなまり・語るつどい（福光町）



杉山寧展

現代日本画壇を代表する杉山寧の作品百六十余点を紹介します。  
開催期間／～十二月十三日(日)  
場所／県立近代美術館  
料金／一般七百円 高・大生五百円  
小・中生三百円



ねいの里行事

縄文人の食べ物だったトチやドングリなどを使って、クッキーやすいとんを作ります。  
日時／十一月二十九日(日) 午前十時  
場所／自然博物館センター「ねいの里」  
参加資格／小学生以上  
定員／百人  
※参加希望の方は、十一月二十七日(金)まで自然博物館センター「ねいの里」(☎0764・69・5252)へご連絡ください。



職業能力開発フェア

職業訓練の内容を紹介するとともに、職業訓練校生の実習作品（木工製品・金属加工製品など）の展示・即売を行います。

- 場所／富山産業展示館
- 開催日／十一月二十八日(土)・二十九日(日)

昭和62年 11月街頭献血日程

日	曜	場 所	時 間
7	土	富山駅前 高岡駅前	10:00～16:00 10:00～15:30
8	日	富山市立五福小学校前 富山西武前 福光町JR福光駅前	10:00～15:00 10:00～16:00 10:00～15:30
10	火	氷見市役所前 朝日町職工会館前	10:00～15:30 10:00～15:30
12	木	新湊市役所前	10:00～15:30
14	土	富山駅前 高岡駅前	10:00～16:00 10:00～15:30
15	日	富山市中央通(北銀横)	10:00～16:00
17	火	婦中町役場前	10:00～15:30
19	木	小矢部市役所前	10:00～15:30
21	土	魚津サンプラザ前 高岡駅前	10:00～15:30 10:00～15:30
22	日	小杉町太閤山ショッピングセンターパスコ前	10:00～15:30
26	木	福岡町JR福岡駅前	10:00～15:30
28	土	富山駅前 高岡駅前	10:00～16:00 10:00～15:30
29	日	高岡駅前	10:00～15:30



秋季全国火災予防運動  
消えたかな  
気になるあの火  
もう一度  
11月26日(日)～12月2日(水)

住宅情報

〔太閤山住宅団地の宅地分譲〕

ゆとりあるマイホームづくりをお求めの方には最適です。

- ◆一区画平均面積 三百三十平方メートル
- ◆分譲価格 四万七千三百円/平方メートル
- ◆問い合わせ先 太閤山住宅団地建設事務所 (☎0766・56・0221)

〔優良宅地取得資金〕

県、または住宅供給公社が造成した住宅団地の宅地を購入される方への資金融資です。  
◆融資限度額 二百五十万円  
◆償還期間 二十年以内  
◆融資利率 年四・七パーセント

〔富山県特別住宅分譲制度〕

富山県住宅供給公社で、雪に強い住宅仕様のものを購入する場合などに適用される制度で、住宅金融公庫の融資額が割増されるなどの特典があります。

〔地域優良木造住宅の割増融資〕

住宅金融公庫及び県の「住みよい家づくり資金」の融資を受け、耐雪型・断熱構造の木造住宅を建設する場合、住宅金融公庫から最高二百万円の割増融資が受けられます。

〔住みよい家づくり資金〕

雪に強い家づくり、住みよい家づくりのお手伝いをする富山県住みよい家づくり資金の融資条件が改善され有利になりました。

- ◆融資限度額 新築 三百二十万円 改良・中古改良 二百万円
- ◆償還期間 新築 二十年以内 改良・中古購入 十年以内
- ◆融資利率 年四・七パーセント
- ※住宅金融融資について詳しくは、富山県住宅供給公社(☎0764・32・5131)へお問い合わせください。

# TOYAMA GUINNESS SPOT 6

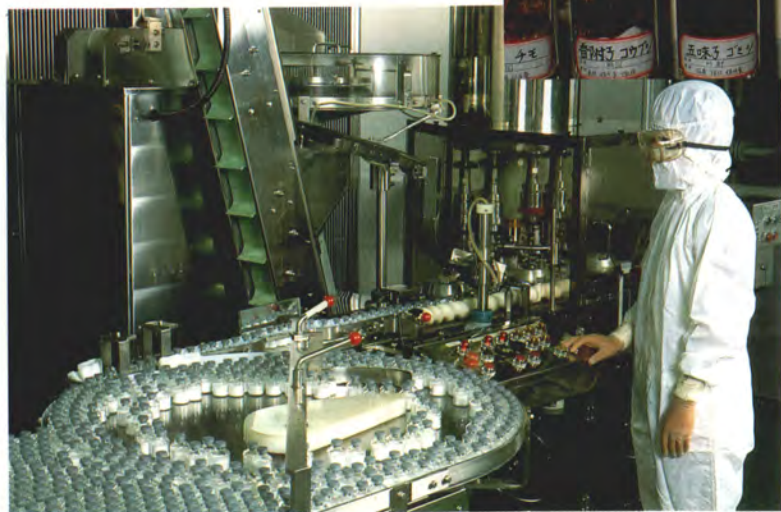
## 薬

富山の売薬の歴史は、二代藩主前田正甫公の時代にはじまるといわれています。

元禄三年（一六九〇年）江戸城で腹痛に苦しむ三春城主に正甫公が反魂丹を与えたところたちどころに治まり、これが評判となって以来、全国への行商がはじまったという事です。

そして現在では、**配置家庭薬生産額約二百四十億円**、**販売従事者数約四千五百人**ともに**全国一位**となっています。

また、こうした伝統をもとにした和漢薬研究、バイオ研究などもさかんで、生薬標本数世界一の富山医科薬科大学和漢薬研究所、県立では日本で唯一の医薬品専門の薬事研究所など充実した体制を誇っています。



富山の特徴を①生活の場②産業活動の場③一時滞在の場、の三つの視点から、統計データをベースに、グラフや写真を盛り込んで一冊にまとめました。

自然・産業・教育・生活（I・II）文化の六章で構成し、「いま」「なぜ」「そして」というスタイルで記述してあります。「いま」では現在の姿を、「なぜ」では背景を、「そして」では変わりつつある富山の姿や展望を紹介しています。

このほか、県内各市町村の「わがまちベスト3」や富山県が全国のトップレベルにある指標を集めた「トップ・データ富山」も掲載しています。

『富山がわかる本』

- ・A5判／二百四十四頁 定価千円
- ・申込先／富山県統計協会（県庁統計課 内）0764(3)4111 内線404



『富山がわかる本』

## 相談窓口のごあんない

### 県政については

- ・県民相談室 富山市新総曲輪1-7(県庁内) ☎(0764)31-4111(代) 31-3131(県民電話)
- ・高岡地方県民相談室 高岡市赤祖父211(総合庁舎内) ☎(0766)21-9411
- ・魚津地方県民相談室 魚津市新宿10-7(総合庁舎内) ☎(0765)24-5311
- ・砺波地方県民相談室 砺波市幸町1-7(総合庁舎内) ☎(0763)33-5151

### 消費生活については

- ・消費生活センター 富山市安住町7-18 安住町第一生命ビル内 <一般相談は> ☎(0764)32-9233 <金融相談は> ☎(0764)33-3252
- ・消費生活センター高岡支所 高岡市本丸町7-1 本丸会館内 ☎(0766)25-2777

### 暴力・サラ金などについては

- ・困りごと相談所 警察本部防犯少年課 ☎(0764)33-8080
  - ・覚せい剤・サラ金相談 警察本部生活保安課 ☎(0764)41-8904
  - ・暴力団ゼロ110番 警察本部捜査第二課 ☎(0764)42-0110
- このほか各警察署でも受け付けています。

見てください・聞いてください

**N** NEWS-PAPER 新聞広報

**TV** テレビ広報

**R** ADIO ラジオ広報

### 新聞広報

- ・北日本、富山、読売、北陸中日 毎週第2土曜日 「県からのお知らせ」 毎月最終土曜日 「みんなの県政」
- ・朝日、毎日 毎月第2、最終土曜日 「県からのお知らせ」

### テレビ広報

- ・北日本放送 毎週日曜日 AM8:00~8:30 「こんにちは富山県です」
- ・富山テレビ放送 毎週日曜日 AM9:00~9:30 「110万人のひろば -クイズ/フォーカス-イン-

### ラジオ広報

- ・FMとやま “ふれあいホットライン” 県内各地からホットな話題をクリアなサウンドでおとどけます 毎週月~金曜日 AM9:30~9:35

## 編集後記

★埋蔵文化財センターに取材でおじゃましました際、古代のひすいを見せていただきました。

どれも平たんに加工され、くさりを通すためか、きれいに穴があらわれています。

係の人の話によると、これはひすいに細い竹の棒を擦りつけてあけたもので、一ミリ削るのに三時間かかるということでした。

ひすいの厚さが一センチだとしても……。

昔の人の根気強さには感心させられました。

★雪ん子劇団の子供たちはさすが。直前まではじゃれ合っていたけど、出番になると、バシッと決めてしまします。準備運動の手つなぎ鬼では、私もつかまつと一緒に走らされてしまいました。子供と走るのはいい気持ち。雪ん子みたいな子供が欲しいな。





おじいちゃん、卵の動物性タンパク質が血管の老化を防ぐのに役立ちますよ。  
 老人ボケや寝たきりの予防には動物性タンパク質を不足なくとり血管の老化を防ぐことが大事。コレステロールの心配をする必要のない卵で健康なシルバークエイジを。

お酒好きのお父さん、肝臓を守り、消化吸収のよい半熟卵を食べましょう。

卵に含まれるメチオニンという必須アミノ酸が肝臓のアルコール分解作用を高めると同時に、他のアミノ酸やビタミン類が肝臓を強化してくれます。

1日のウォーミングアップに卵が最適ですよ。

眠りからさめた脳とからだは活発に働くために、十分な血液の循環が必要。それには胃への負担の少ないタンパク質、つまり卵が効果的。世界多くの国の朝食に卵が登場するのは、卵が脳とからだの眠りをさます。朝食の条件を満たしているからといえましょう。

美しくありたいと願う女性のみなさん。卵を食べてお肌を健康に。卵に豊富に含まれているレシチンという成分は、ヒフの新陳代謝を活発にし、ヒフの老化を防ぐ働きをします。ですから朝食を抜くなんてことはやめて、せめて卵1個と野菜の朝食をとりましょう。

# モーニングエッグは、“金の卵”。

日本人のおよそ1/3が朝食抜きだそうです。でも朝食は、1日の活動のエネルギー源。せめて卵1個は毎朝食べたいものです。卵は、ヒヨコの脳や神経、全身の細胞、骨格をつくる栄養分をすべて含んでいます。ですから、子どもの成長に欠かせないだけでなく、お父さんやお母さん、お年寄りの方の健康にもいろんな働きをする食品です。

“ゆでる・蒸す・煮る・焼く・いためる・揚げる”——卵料理は、手軽で簡単。

毎朝1個のモーニング・エッグは、“金の卵”なのです。

健康は、毎朝1個の卵から  
**全国鶏卵消費促進協議会**